

**令和6年度甲南大学大学院修士課程進学予定者に係る  
特に優れた業績による返還免除内定候補者募集要項**

甲南大学学生生活支援センター

# 1. 制度の趣旨

- この制度は、次代の科学技術イノベーションや地域を担う優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、大学院修士課程での修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的として、あらかじめ内定することができる制度です。
- 内定者になった場合、特に優れた業績による返還免除制度において求められる優れた業績を、奨学金の貸与期間終了までの間に挙げることであれば、正式に返還免除候補者となることができます。
- 内定者は、第一種奨学金の貸与終了時に、当該年度に貸与期間が終了となる者と併せて選考します。内定者が必ずしも全額免除となるわけではなく、貸与終了時における推薦順位により半額免除となる可能性があることや、内定取消に該当した場合は内定取消となることを、全て合意した上で、申請してください。
- 但し、長期履修登録をしている等、修業年限内に課程を修了する見込みでない場合や、修業年限内に十分な成果を挙げる見込みがない場合は、申請できません。

## 2. 制度の対象者

令和6年度に大学院修士課程への進学を希望し、以下の①～④のいずれも満たす者。

①大学学部等において修学支援新制度(旧給付奨学金を含む)を利用していること※<sup>1</sup>又は住民税非課税世帯であること※<sup>2</sup>。

(※1)本内定制度申請及び推薦時点で、家計基準に基づく支援区分見直しにより「停止中」の者は対象外です。

(※2)学生本人及び生計維持者(父母がいる場合は原則として父母2名)の所得証明書等(取得可能な最新年度のもの)により、全員の住民税所得割額が非課税であること。

## 2. 制度の対象者(続き)

②特定分野(「科学技術イノベーション創出に寄与する分野(情報・AI、量子、マテリアル等)」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」)<sup>(注)</sup>への進学を希望していること。

(注)本学は右表のとおりです。申請者が分野を選択して申請する必要はありません。※追加枠は基本枠より内定者となる可能性が低い枠です。

	科学技術イノベーション創出に寄与する分野(情報・AI、量子、マテリアル等)	大学の強みや地域の強み等を生かした分野
人文科学研究科	該当する	該当する
自然科学研究科	該当する	該当する
社会科学研究科	該当しない	該当する
フロンティアサイエンス研究科	該当する	該当する
甲南大学推薦枠	2枠 基本枠 :1枠 追加枠※:1枠	2枠 基本枠 :1枠 追加枠※:1枠

## 2. 制度の対象者(続き)

- ③将来、上記②に記載の特定分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動することができる者と認められる者。
- ④日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金に予約申込していること。
- 本制度を利用するためには、別途、日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金(予約採用)の申込みをしていただく必要があります。また、本制度内定の申請要件と第一種奨学金の選考基準は異なる基準であることから、内定者として決定されたとしても、第一種奨学金が必ずしも採用されるとは限りません。なお、第一種奨学金が不採用となった場合は、内定者として決定されていたとしてもその効力を失うこととなります。
  - 日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金(予約採用)の申込みは、**令和5年11月1日(水)～令和6年1月18日(木)の期間**に済ませておいてください。詳細は、甲南大学学生生活支援センターHP [ホーム](#) > [キャンパスライフ](#) > [学生支援機構](#) > [学生生活支援センター](#) > ニュース(以下URL・QRコード)からアクセスしてご覧ください。
  - <https://www.konan-u.ac.jp/news/archives/43460>



# 3. 申請の意思確認(対象者\*全員)

- 本制度は、対象者が限定されていることから、対象者\*全員が募集情報を把握しているかどうか、確認する必要があります。申請の意思がない方にはお手数をおかけしますが、対象者\*全員、アンケートにご回答をお願い致します。
- \*対象者とは、学部4年生後期時点で、修学支援新制度の給付奨学金受給者です。大学院に進学されない方は、ご放念ください。大学院に進学予定で、日本学生支援機構大学院貸与奨学金の予約申込をしない方は、本アンケートで、「申請しません」に回答してください。日本学生支援機構大学院貸与奨学金は、大学院進学後でも申請できます。
- <https://forms.office.com/r/vQxJF10gkL>
- **回答期限:令和5年12月22日(金)**
- 申請を希望された方には、回答されたメールアドレス宛に、申請書類の様式をお送りします。

令和6年度大学院修士課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定候補者 申請の意思確認につ



## 4. 申請方法・申請期間(期限)

申請方法(申請者が行うこと)	申請期間(期限)	参照
日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金の予約申込	令和5年11月1日(水)～ 令和6年1月18日(木)	手順1
申請者の意思確認	令和5年12月16日(土)9時	前頁に記載
申請書類の提出	令和6年1月18日(木)	手順2
スカラネット(日本学生支援機構)での申請	令和6年1月31日(水)	手順3
進学先の報告	令和6年2月29日(木)	手順4

# 4. 申請手順

## [手順1] 日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金の予約申込

- **令和5年11月1日(水)～令和6年1月18日(木)の期間**に、日本学生支援機構(大学院)第一種奨学金の予約申込を済ませてください。詳細は、甲南大学学生生活支援センターHP[ホーム](#) > [キャンパスライフ](#) > [学生支援機構](#) > [学生生活支援センター](#) > ニュース(以下URL・QRコード)からアクセスしてください。
- <https://www.konan-u.ac.jp/news/archives/43460>





## 4. 申請手順(続き)

### [手順2] 学生生活支援センターからメールで連絡

- 学生生活支援センターから、アンケートにご回答頂いたメールアドレスに、日本学生支援機構奨学金「修士課程進学予定返還免除内定候補者」申請書(甲南大学様式1)をお送りします。受取確認のため、必ずご返信ください。

### [手順3] 申請書類の提出

- **令和6年1月18日(水)17時**までに申請書類を学生生活支援センター(岡本キャンパス iCommons2F)に持参してください。その際、「スカラネット入力下書き用紙」及び「識別番号(ユーザID・パスワード)」を配付します。

## 4. 申請手順(続き)

### [手順4] スカラネット(日本学生支援機構)での申請

- 「スカラネット入力下書き用紙」及び「識別番号(ユーザID・パスワード)」を用い、**令和6年1月31日(水)まで**に、スカラネットより本制度の申請を行ってください。期限内に申請を行わなかった場合は、学内選考に進むことができません。

# 4. 申請手順(続き)

## [手順5] 進学先の報告

- **令和6年2月29日(木)まで**に進学先を学生生活支援センター([scholarship@adm.konan-u.ac.jp](mailto:scholarship@adm.konan-u.ac.jp))宛に、メールで連絡してください。

件名	令和6年度大学院修士課程進学予定者進学先報告
本文	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 大学名・学部学科・学年・学籍番号・氏名・連絡先(電話番号・メールアドレス)</li><li>2. 【甲南大学大学院進学決定者】の場合↓ 甲南大学大学院修士課程〇〇研究科に進学が決定しました。内定候補者を希望します。  【他大学大学院進学決定者】の場合↓ 〇〇大学大学院修士課程〇〇研究科に進学が決定しました。内定候補者を辞退します。</li></ol>

# 5. 申請書類（[手順3]令和6年1月18日提出期限）

- 以下の該当するものを提出してください。

対象者	申請書類
全員	①日本学生支援機構奨学金「修士課程進学予定返還免除内定候補者」申請書（甲南大学様式1）
全員	②令和5年度学業成績証明書
全員	③大学院合格通知書の写し
該当者【A】のみ	④給付奨学金情報の画面コピー
該当者【B】のみ	⑤全員の住民税所得割額が非課税であることを証明する書類（原本）
希望者のみ※推奨	⑥特に優れた業績を証明できる資料

- 該当者【A】: 大学学部等において修学支援新制度（旧給付奨学金を含む）を利用している方
- 該当者【B】: 【A】以外の方
- ※申請者多数の場合、⑥により選考する場合がありますので提出を推奨します。

# 6. 申請書類詳細

## ①日本学生支援機構奨学金「修士課程進学予定返還免除内定候補者」申請書(甲南大学様式1)【必須】

- ・ 申請者本人が作成してください。
- ・ 担当教員推薦欄は指導主任や研究室の担当教員などに依頼してください。
- ・ 手書き、パソコン入力いずれも可能です。(ただし、担当教員推薦欄は自署・捺印)

## ②令和5年度学業成績証明書【必須】

- ・ 令和5年度前期までの修得単位数が証明されたものを提出してください。
- ・ 大学院科目の科目等履修をしている場合は、その証明書も添付可能です。

## ③大学院合格通知書の写し【必須】

- ・ 申請期限までに提出できない方は、提出予定時期を申告してください。仮に不合格となった場合も、その旨を必ず報告してください。

## ④給付奨学金情報の画面コピー【該当者のみ】

- ・ 以下の手順にてアクセスし、画面をコピーしてください。  
[日本学生支援機構スカラネット・パーソナル\(奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス\)](#) > 全体概要 > 奨学生番号ごとの詳細情報 > 給付奨学金情報

## ⑤全員の住民税所得割額が非課税であることを証明する書類(原本)【該当者のみ】

- ・ 学生本人及び生計維持者(父母がいる場合は原則として父母2名)の所得証明書等(取得可能な最新年度のもの)、市区町村役場で発行されたものを提出してください。

## ⑥特に優れた業績を証明できる資料【希望者のみ※推奨】

- ・ 別紙「業績を証明する主な書類」に該当する業績があれば、根拠資料を提出してください。
- ・ ※申請者多数の場合、⑥により選考する場合がありますので提出を推奨します。

# 7. 学内選考

<第1次選考(2月～3月上旬予定)>

- 各研究科ごとに、書類選考を行います。

<第2次選考(3月下旬予定)>

- 第1次選考で推薦枠を超える候補者がいた場合、大学全体での書類選考を行います。

<内定候補者決定(4月予定)>

- 内定候補者となった者に通知します(内定候補者が他大学に進学した場合は、内定候補者の権利はなくなります)。

<推薦(4月予定)>

- 大学から日本学生支援機構に推薦します。

<内定者決定(6月予定)>

- 日本学生支援機構から内定者決定通知が届きます。大学から内定者に通知します。

# 8. 中間報告

- 内定者となった場合は 年に1回中間評価があり 内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します(学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります)。
- 以下の(1)～(3)すべてを満たしているか大学で確認し、機構に報告します。
  - (1) 第一種奨学生の適格認定の区分の「廃止」又は「停止」に該当していないこと
  - (2) 修業年限内に課程を修了する見込みであること(長期履修登録者は不可)
  - (3) 文部科学省令第36条第1号～第10号で定める各業績について、十分な成果を挙げる見込みがあること(適格認定で「警告」の認定を受けた場合は(3)を満たしていない人として報告されます)

# 9. 貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除候補者への申請」

- 内定者として決定された場合も、自動的に返還免除者とはならず、貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除候補者への申請」が必要となります（内定者としての身分を取り消された者を除く）。その上で当該年度に貸与期間が終了となる者と併せて選考します。内定者が必ずしも全額免除となるわけではなく、貸与終了時における推薦順位に因り、半額免除となる可能性があります。
- 例年、12月下旬頃から、「特に優れた業績による返還免除候補者」を募集し、1月中旬までに指導主任の推薦書と併せて業績を証明する資料を提出する必要がありますので、忘れないようにしてください。



# 10. 制度の情報、お問い合わせ先

- 本情報は、日本学生支援機構HPに掲載されています。
- ホーム＞奨学金＞在学中の手続き＞特に優れた業績による返還免除の手続き＞手続き(修士課程及び専門職学位課程)返還免除内定制度
- <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>



<お問い合わせ先>

甲南大学学生生活支援センター奨学金係

078-435-2702

[scholarship@adm.konan-u.ac.jp](mailto:scholarship@adm.konan-u.ac.jp)

<お問い合わせ時間>

電話: 平日9時~17時

Mail: 開室時間外は返信できません。お急ぎの場合は、お電話又は窓口にて、お問い合わせください。